

第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する検証会（第1回）
議事要旨

1. 日 時 平成31年1月28日（月）10:00～12:00
2. 場 所 中央合同庁舎8号館7階まち・ひと・しごと創生本部事務局内会議室
3. 出席者（敬称略）
[委員]
岡田 豊、牧野 光朗、松原 宏（座長代理）
[事務局]
稲山 博司、伊藤 明子、井上 誠一、高橋 文昭、辻 庄市、田川 和幸、
中原 淳、丸山 雅章、大津 俊哉、島田 勝則、山内 孝一郎
4. 議 題
○検証会の進め方について
○まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの検証について
○東京一極集中の動向と要因について
5. 議事概要
○検証会の進め方、まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの検証、東京一極集中の動向と要因等について事務局から説明を行い、主に以下のような意見が述べられた。
 - (1) 検証会の進め方について
 - ・地方創生に関する検証や検討に向けた様々な会議が多く開催されている中で、本検証会はどのような位置づけになるかを確認したうえで議論を進めていく必要がある。
 - ・各関係会議の場における議論も共有しながら、本検証会を進めていくべきではないか。
 - (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの検証について
 - ・資料3におけるKPIの評価区分（①、②、③）については、中間年と同一の基準に基づき、評価区分の①について、目標値を達成したものと、当初値よりは進捗しているがまだ目標値を達成していないものが、同じ「①」という評価になっているが、これで良いのか。例えば、数値の伸び率などを考慮して判断するなど、客観性を持たせて評価する必要があるのではないか。
 - ・KPIの中に、インプット指標とアウトカム指標が混在しているのではないか。
 - ・アウトカム指標の最たるものが、東京一極集中の是正に係る地方・東京圏の転出入均衡という目標になっており、この部分が最も成果が上がっていない。いろいろと政策を打って取り組んでいる中で、これはあまりに厳しい指標だったのではないか。「頑張っても仕方がない」という風に見えるのは非常に残念なので、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けては、政策の成果を前向きに評価できるような他の成果指標を検討してもよいのではないか。